

東京都交響楽団

Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

心躍るメロディーとリズムの名曲集!

7/30水

[プレトーク]

14:20~14:40

話=熊倉 優

※本公演と同じお席でお楽しみください。

[開 演] 15:00

[終演予定] 17:00

出演

指揮：熊倉 優

Masaru Kumakura, *Conductor*

ピアノ：奥井紫麻*

Shio Okui, *Piano*

コンサートマスター：山本友重

Tomoshige Yamamoto, *Concertmaster*

曲目

ショスタコーヴィチ：タヒチ・トロット op. 16

〔4分〕

Shostakovich: Tahiti Trot, op. 16

チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op. 23*

〔33分〕

Tchaikovsky: Piano Concerto No. 1 in b-flat minor, op. 23

第1楽章 アレグロ・ノン・トロポ・エ・モルト・マエストーソ

第2楽章 アンダンティーノ・センプレ・チエ

第3楽章 アレグロ・コン・フォーコ

— 休憩〔20分〕 —

ハチャトゥリアン：組曲『仮面舞踏会』

〔15分〕

Khachaturian: Masquerade Suite

1. ワルツ 2. 夜想曲 3. マズルカ 4. ロマンズ 5. ギャロップ

ストラヴィンスキー：バレエ音楽『火の鳥』組曲（1919年版）

〔25分〕

Stravinsky: The Firebird Suite (1919 version)

1. 序奏 2. 火の鳥の踊り 3. 火の鳥のヴァリアシオン

4. 王女たちのロンド 5. 魔王カッシェイの凶悪な踊り 6. 子守歌

7. 終曲

※演奏時間は目安です。 ※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

皆様にコンサートをお楽しみいただくために、
ご協力をお願いいたします。

開演中は、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末など音や光を発する電子機器の電源をお切りください。光を強く反射する物は鞆におしまってください。



時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。



ハウリングの発生を防ぐために、補聴器などが正しく装着されていることをご確認ください。



演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の公演です。ご自分の席でお聴きください。



許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断りいたします（カーテンコール時を除く）。



演奏中に音が出ないように十分ご注意ください（鈴のついたお手荷物・鉛の包みを開ける際の音・プログラムをめくる音など）。



演奏中の会話はお控えください。



演奏が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援をお送りください。



客席内での飲食はご遠慮ください。



館内では咳エチケット・適切な手指消毒を推奨しております。

終演後のカーテンコールの撮影が可能です。

撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。 ※撮影前にフラッシュ設定が「オフ」になっているかご確認ください。 ※目線より高い位置での撮影や、スマートフォン・携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。 ※SNSなどに投稿する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。

主催：川崎市、ミュージーザ川崎シンフォニーホール（川崎市文化財団グループ）

後援：川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、TBSラジオ

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市



音楽のまちかわさき



文化庁

ロシア・ソ連のダンス・ナンバー！ 軽音楽、民族舞踊、宮廷舞曲、そしてバレエ

シンコペーションが効いた軽快な舞曲

ショスタコーヴィチ：タヒチ・トロット

1927年、21歳のドミトリー・ショスタコーヴィチ（1906～1975）が書き上げたこの小さな管弦楽曲は、ジャズのスタンダード・ナンバーとしても知られる「二人でお茶を（Tea for Two）」（1924）の編曲である。本曲が収録されたミュージカル『ノー・ノー・ナネット』がモスクワで上演されたのを聞いたショスタコーヴィチは、指揮者マリコーから、冗談交じりに「1時間以内にこの曲を記憶だけで編曲することができたら100ルーブルをやるう」と賭けを申し出られた。そこで彼は、筆を走らせて本曲を45分で書き上げてみせた。フォックストロットという二拍子のシンコペーションが効いた軽快な舞曲で、管弦楽をさまざまに分割して室内乐的な響きを生み出すショスタコーヴィチの工夫が光る。

19世紀の作曲家が魅了された民族舞踊の味わい

チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番

若手時代のピョートル・チャイコフスキー（1840～1893）は、たびたび創作過程で先輩たちにアドバイスを仰いでいた。ピアノ協奏曲の創作についても、モスクワ音楽院の院長で名ピアニストでもあったニコライ・ルビンシテインに意見を求めながら作曲を進めた。先輩からの批判にめげることなく、1875年に完成した本作はチャイコフスキーの生前から彼の一番の人気作となり、世界中で演奏されるようになった。

第1楽章の堂々とした序奏（アレグロ・ノン・トロppo・エ・モルト・マエストロ）は、実はチャイコフスキー自身が書いたものではないという説が有力。序奏の後に独奏で奏でられる主題（アレグロ・コン・スピリト）は、ウクライナ民謡に由来する軽やかでありながらほの暗い旋律。**第2楽章**（アンダンティーノ・センプリーチェ）はゆったりとした歌うようなメロディーが主軸となっている。中間部ではがらりと場面が変化し、縦横無尽に跳ね回るピアノの技巧的なフレーズが主役に躍り出る。**第3楽章**（アレグロ・コン・フォーコ）の冒頭のメロディーはウクライナ民謡の引用で、異なる素材をはさみながら何度も色彩を変えて登場し、音楽を駆動させていく。

蘇る貴族たちの踊りの風景

ハチャトゥリアン：組曲『仮面舞踏会』

ロシアを代表する詩人・小説家・劇作家の一人であるレールモントフの演劇『仮面舞踏会』（1835）の付随音楽として作曲された。1941年のレールモントフ生誕百周年記念という上演機会に際して作曲を依頼されたアラム・ハチャトゥリアン（1903～1978）は、喜んで作曲に取りかかった。完成した音楽を、ハイライト形式の組曲に編成し直したのが本曲である。

不義の恋愛関係とその悲劇を主軸にする演劇とあって、音楽はムードに富んでいる。ほの暗い情熱と優雅さを兼ね備えたワルツ、ヴァイオリンの美しいソロが印象的な**夜想曲**、一転して軽やかで華麗な**マズルカ**、文字通り歌うような旋律を主軸とした**ロマンス**、激しく諧謔的な**ギャロップ**。このバラエティに富んだ5曲はいずれも、ハチャトゥリアンの独創的で効果的なオーケストレーションや、ときにケレン味ある旋律を十全に聞かせてくれるとともに、宮廷の華やかな舞踏会の情景を雄弁に蘇らせる音楽となっている。

西欧を驚かせたロシア民謡によるバレエ

ストラヴィンスキー：バレエ音楽『火の鳥』組曲（1919年版）

今日、我々の知るロシア音楽を世に広め、世界的な存在にしたのは、実業家でロシア・バレエ団を主宰していたディアギレフである。そのディアギレフから、ロシアでよく知られているいくつかの民謡をもとにしたバレエを依頼されたイーゴリ・ストラヴィンスキー（1882～1971）は、師匠リムスキー＝コルサコフが民謡集の取材と編曲に取りかかっていたこともあり、民謡をさまざまに引用したバレエを作曲し、西欧の聴衆をエキゾチックな美しさで大いに歓喜させた。組曲はその音楽から数曲を抜粋したものである。

神秘的にうごめく「序奏」、一転して軽やかに羽ばたく「火の鳥の踊り」と「火の鳥のヴァリアシオン」が続けて演奏される。「王女たちの Rond」はロシアの伝統的な輪舞に基づく音楽。「魔王カッシェイの凶悪な踊り」は野趣あふれる、死の世界の支配者にふさわしい音楽である。続く「子守歌」は、火の鳥がカッシェイの王国の住民たちを眠らせる音楽。次第に音域が上がり、伝統的なロシア民謡の旋律が繰り返される華やかな「終曲」へと向かう。



レオン・バクスト（1866～1924）によるバレエ『火の鳥』（1910）の衣装デザイン

Column

踊りは誰にも止められない ——お上の批判を乗り越えて

今回演奏される音楽は、どれも踊りというキーワードでゆるやかに結びつき、一つの星座をなしている。タヒチ・トロットはジャズ、チャイコフスキーのピアノ協奏曲には民族舞曲、仮面舞踏会はその名のとおり貴族社会で踊られていた舞踊曲が多数用いられており、バレエ曲を下敷きにしている以上『火の鳥』は踊りの音楽である。

音楽と踊りは古来から、切っても切り離せない関係がある。重苦しいイメージで語られがちなのソ連時代でもその状況は同様だ。確かに、元来貴族の私邸や皇邸で踊られたワルツやポロネーズのような「ブルジョア的」と見なされた様式は、ときに新国家にふさわしくないと一蹴された。ジャズも1930年代以降「退廃的」とされ、演奏を制限されたこともあった。その極端な例が、ショスタコーヴィチやハチャトゥリアンを襲った1948年の「ジダーノフ批

判」だろう。彼らの音楽を「形式主義的な傾向で、反民族主義的で音楽の解体へと導く」と非難したこの国家決議により、彼らの音楽は一時期自粛の憂き目に遭った。しかしそのような困難を乗り越え、今日も彼らの作品は演奏され続けている。結局、舞曲的エネルギーを宿す彼らの音楽を止めることは、誰にもできなかったのだ。演奏会の客席で実際にステップを踏むわけにはいかないが、どうか耳を澄ませてリズムを感じ取り、想像力で舞踏会や民族舞踊の情景を思い描いてほしい。涼やかな風が吹き抜けるサロンを彩るフォックストロット、男女が肩を組んで踊る土着の舞曲、シャンデリアのもとで回る豪華なワルツ——作品に刻まれた当時の空気を味わいながら、音楽と踊りの切っても切れない絆に耳を澄ませてみようではないか。

（山本明尚）

■出演者プロフィール



©堀田力丸

指揮：熊倉 優 Masaru Kumakura, *Conductor*

1992年東京生まれ。16歳で作曲を始め、大学入学後に指揮を学び、桐朋学園大学を卒業。指揮を梅田俊明氏、下野竜也氏に師事し、東京国際音楽コンクール指揮部門で第3位を受賞。2016年から2019年までNHK交響楽団でパーヴォ・ヤルヴィ氏のアシスタントを務め、定期公演等に携わる。2020年にはN響「希望のコンサート」で指揮し注目を集める。2021年よりドイツに拠点を置き、ハンブルク州立歌劇場でケント・ナガノ氏のアシスタントを務める傍ら、オペラ『魔笛』などを指揮。2023年8月よりハノーファー州立歌劇場第2カペルマイスターに就任し、2025/2026シーズンには『トウランドット』をはじめ40公演以上を指揮予定。

<https://www.masarukumakura.com/>



©Takahiro WATANABE

ピアノ：奥井紫麻 Shio Okui, *Piano*

2004年生まれ。7歳より故エレナ・アシュケナージに師事。8歳でオーケストラと初共演し、12歳でゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管弦楽団と共演。10歳よりスピヴァコフと世界各国で共演を重ね、15歳でベルリン・フィルハーモニーを始めとする欧州の著名ホールにデビュー。クライネフ・モスクワ国際ピアノコンクールジュニア部門最年少第1位、ジュネーヴ・フレデリック・ショパン協会Prix Mireille Klemm受賞ほか数々の賞を受賞。モスクワ音楽院付属中央音楽学校を経て、2023年にグネーシン特別音楽学校のピアノ科を特別表彰を受け首席で卒業。現在ジュネーヴ高等音楽院にてネルソン・ゲルナーに師事。ローム ミュージック ファンデーション(2023、2024)、International Piano Foundation Theo and Petra Lieven of Hamburg奨学生。

■オーケストラ・プロフィール

東京都交響楽団 Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra



- 【創設】 1965年、東京オリンピックの記念文化事業として東京都が設立。
- 【指揮者】 大野和士(音楽監督)、アラン・ギルバート(首席客演指揮者)、小泉和裕(終身名誉指揮者)、エリアフ・インバル(桂冠指揮者)
- 【ホーム・コンサート・ホール】 東京文化会館、サントリーホール、東京芸術劇場
- 【楽団ウェブサイト】 <https://www.tmsu.or.jp/>

サマーミュージック特設サイト

- アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージック
 - パートナーショップ特典
- こちらからご覧ください。
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/> ➔



アンケート ご協力をお願いいたします。

- ほぼ日刊サマーミュージックに感想が載るかも?
<https://gws-net.com/summermuza2025/> ➔



浴衣 de SUMMER MUZA!

- 浴衣でご来場の方へ特製ステッカーを差し上げます。
 開場・休憩・終演時に、ホール1階「主催者受付」へお立ち寄りください。

ミュージック川崎シンフォニーホール ホールスポンサー

<p>【特別賛助会員】</p> <p>法人</p> <ul style="list-style-type: none"> 川崎幸病院 川崎信用金庫 キャノン株式会社 サントリーホールディングス株式会社 ジェフト株式会社 三井不動産グループ 	<p>【賛助会員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 税理士法人あおぞら会計 株式会社イープラス ENEOS株式会社 有限会社エムシーエス・デザインズ 神奈川臨海鉄道株式会社 川崎アゼリア株式会社 公益社団法人川崎市医師会 川崎市信用保証協会 	<ul style="list-style-type: none"> 公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会 川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル かわさきファーズ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 ケイジーケイ株式会社 公益財団法人JFE21世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ 	<ul style="list-style-type: none"> セレサ川崎農業協同組合 大本山川崎大師平間寺 高橋昌也税理士・FP事務所 株式会社デイ・シイ 東亜石油株式会社 株式会社東芝 日本冶金工業株式会社 川崎製造所 ぴあ株式会社 ホテルメトロポリタン 川崎 	<ul style="list-style-type: none"> ヤマハサウンドシステム株式会社 株式会社ワイイーソリューションズ * 大宮町内会 他3法人 <p>【わくわくミュージック法人サポーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 稲毛神社 おつけもの慶 						
<p>個人</p> <ul style="list-style-type: none"> 阿部孝夫 新井智彦 市橋信一郎 井上敏昭 宇佐美清一 	<ul style="list-style-type: none"> 遠藤智和 大越麻美子 大須賀徳也 大塚具幸 岡垣克則 	<ul style="list-style-type: none"> 小笠原 将 岡田 元 岡野 功 小倉ヒロ・ミハエル 小野洋彰 	<ul style="list-style-type: none"> 金山直樹 喜多紘一 木伏源太 久住映子 小菅みつほ 	<ul style="list-style-type: none"> 国府保周 後藤 実 小林知子 佐伯 昇 佐藤晴茂 	<ul style="list-style-type: none"> 佐藤義寛 新保和浩 杉山弘子 鈴木甚郎 鈴木 徹 	<ul style="list-style-type: none"> 高井延幸 高橋美子 竹内啓介 都築 豊 中村紀美子 	<ul style="list-style-type: none"> 西 洋子 西山英昭 長谷川喜代江 林 直人 廣瀬治昇 	<ul style="list-style-type: none"> 藤嶋とみ子 堀江智巳 前田 泉 松嶋邦生 山内利夫 	<ul style="list-style-type: none"> 山下啓史 山田昌克 D.Y K.O M.C 	<ul style="list-style-type: none"> N.A T.Y 他匿名16名 敬称略五十音順

ミュージック川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。